

コレクション展
ガラスを自然
めぐる自然

プレスリリース 2023.05.16



1. 塚田美登里《光琳 #2》2013年 撮影：岡村喜知郎

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会概要

展覧会名	ガラスをめぐる自然
会 期	2023 年 6 月 10 日（土）～2023 年 12 月 3 日（日）
会 場	富山市ガラス美術館 4 階 展示室 4、透ける収蔵庫
主 催	富山市ガラス美術館
開場時間	9：30－18：00 (金・土曜日は 20：00 まで、入場は閉場の 30 分前まで)
閉 場 日	第 1・3 水曜日 ※ただし、8/16（水）は開場、8 月 23 日（水）は閉場
観 覧 料	一般、大学生 200 円（170 円）、高校生以下は無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金 ※本展観覧券でグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。 ※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます

展覧会について

今回のコレクション展では、新たな収蔵品を含む当館の所蔵作品の中から、自然と人との関わりに関心をもつ作家達の作品を 3 つのテーマでご紹介します。富山は北側に日本海・富山湾を臨み、南側には立山連峰と北アルプス一帯を占める中部山岳国立公園を擁するなど、雄大な自然と美しい景観に恵まれていることから、私たちは普段からその恩恵を受けています。異なる文化や背景をもつガラス作家達もまた、身の回りにある動植物の造形や、光や熱、風といった多様なエネルギーが生み出す光景、豊かな恵みをもたらす海や田畑など、各々にとって身近な自然の存在に着想を得て作品を制作しています。その捉え方や制作のアプローチはそれぞれ異なるものの、作品には、連綿と続く大地の営みに目を向け、自然の姿に寄り添う作家達の意識を垣間見ることができます。作品を通して、自然を捉える様々な視点に出会うとき、私たちは身近にある環境について思いを巡らせ、自分自身の自然との関わり方について見つめ直すきっかけをもらうかもしれません。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

1 自然のエネルギー

自然の中には、太陽の光や熱、水や風の力など、様々なエネルギーが働いています。日々太陽がもたらすダイナミックなエネルギーはもちろん、川の流れや寄せては返す波、風を受けて回転する風車など、自然の事物から生まれる現象やそのエネルギーは、たくましく根を張り成長する植物と同様に、私たちの身近なところで見ることができます。この章では作家達が、自然が生み出す光景や、生命力に満ちた動植物の造形に潜む力強いエネルギーを見だし、視覚化した作品を紹介します。



1. 塚田美登里《光琳 #2》2013 年 撮影：岡村喜知郎



2. ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット
《Blue Coral》1997 年 撮影：末正真礼生



3. ラダ・セメツカ《Sun Plate》2009 年 撮影：室澤敏晴



4. アレナ・マチェイカ《Windmills》2012 年 撮影：末正真礼生

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

2 自然と生きる

気候変動や環境破壊など、自然と人との関係が問い直されている今日、私たちはどのような形で自然と繋がりを持ち、共生することができるでしょうか。太古から、自然は衣食住に恵みをもたらすだけでなく、時おり猛威を振るい人の生活を脅かしてきた歴史があり、しばしば神と同一視されます。この章では、私たちに立ちほだかる自然へ畏敬の念を抱きながら、人の営みとの関わりに着目した作品を紹介します。天候不順や災害と隣り合わせる日々の暮らしを造形化した作品や、水盤で手を洗い清める儀礼に着想を得て水との結びつきを表した作品など、文化的な背景や生活を通じて、様々な形で自然との結びつきを表す作品に注目します。



5. 扇田 克也《海に降る雨》2011年 撮影：末正真礼生



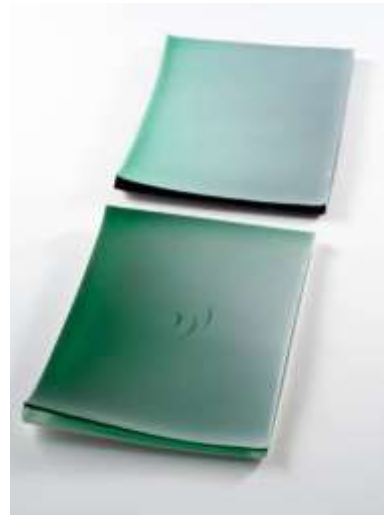
6. ハワード・ベン・トレ《大水盤》1999年 撮影：斎城卓

3 自然を歩く

どこまでも続く岩々や砂漠、ふいに姿を表す山々…この章では、日常から踏み出した作家がさすらいななかで、自然との対話に着想を得た作品を紹介します。作品には、作家達が身の回りの場所を通して得た感覚や体感が、抽象的な色や形で表されています。季節が巡り、様々な表情を見せる風景によって自然のサイクルを受け止めるとき、日々を過ごす中で忘れていた感情や体験が思い起こされ、新鮮な気持ちで景色を捉えることがあります。こうした視点を作品の中に見るとき、私たちは普遍的な日常を繰り返すかけがえのなさに気づき、人間と自然との新しい関係について考えるきっかけを得ることができるかもしれません。



7. ラダ・セメツカ《Landscape XX》
2006年 撮影：室澤敏晴



8. ラダ・セメツカ《Landscape XXI》
2006年 撮影：室澤敏晴

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

出品作家

塚田美登里、エマ・ヴァルガ、アレシュ・ヴァシーチェック、アレナ・マチェイカ、ラダ・セメツカ、ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット、茂木里恵、ハワード・ベン・トレ、カースティ・レイ、扇田克也、リノ・タリアピエトラ、ヤン・フィシャルなど（順不同）

関連プログラム

ギャラリートーク

参加無料 申し込み不要

日 時：2023年6月24日（土）、7月15日（土）、29日（土）、8月11日（金・祝）、26日（土）、
9月9日（土）、30日（土）、10月21日（土）、11月3日（金・祝）、25日（土）
各回午後2時より開催

会 場：富山市ガラス美術館

- 事前申し込みは不要です。
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、美術館ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館概要



9



10

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「ガラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「ガラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のガラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅より〕○徒歩20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩1分
○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩2分（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約10分）

〔富山空港より〕○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩4分

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp（代表）

広報担当：渡辺、小谷 展覧会担当：高橋

広報用画像の貸出しについて

p.1、3、4、6 の画像 1～10 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p.8 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：

Tel：

Fax：

E-mail：

住所：

団体名：

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「ガラスをめぐる自然」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

☐ 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。

☐ 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。

☐ 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

☐ 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

☐ 画像の2次使用はご遠慮ください。

※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。

☐ 校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

☐ 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax : 076-461-3310

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp